

「事例研究」様式1 個別援助事例について

- 1) 次の項目について、A4版の用紙に横書き、字数40字×30行×3～4枚でまとめること。
- 2) 各項目の字数（特に表中の項目）は、全体のバランスを考えて適宜伸縮して記入すること。

I 個別援助事例

（都道府県・市名） （施設名） （職種名） （氏名）

「 題 名 」(事例の内容がわかるように工夫すること)

1 プロフィール ※ 個人が特定できないように配慮すること

| | |
|--------------------|----------------------------------|
| (1) 氏名・性別・年齢 | (例) Aさん・男性・67歳 |
| (2) 入所年月 | 平成〇年〇月入所（在所期間〇年〇ヶ月） |
| (3) 入所理由 | |
| (4) 現在の心身の状況 | 要介護度、認知症度、パーソナリティの傾向を含む |
| (5) 既往病歴 | |
| (6) 生活歴の概要 | (最終学歴・職歴・家族歴等を含む) |
| (7) 家族構成図 | (家計図の様式。入所前の家族は点線で囲む) 女○、男□、死亡●■ |
| (8) 施設内友人との交流関係 | |
| (9) 趣味・クラブ活動等の参加状況 | |
| (10) その他 | (その他、事例を理解するために必要な事項等を記載すること) |

2 事例の概要と、この事例を取り上げた理由

3 援助経過の要約 (この部分がメインとなるので、具体的に記述すること)

- (1) 初期の状況（問題の発生、ケアアセスメント、ケアプラン、実施結果等）
- (2) 中期の状況（その後の変化、ケアアセスメント、ケアプラン、実施結果等）
- (3) 現在の状況・今後の見通し

4 評価と反省

5 施設の概要 (別紙)

| | | | |
|-----------|--|--------------|--|
| (1) 入所者定員 | | (6) ケース会議関係 | |
| (2) 入所者現員 | | ・参加職種 | |
| (3) 職員数 | | ・参加人員 | |
| (4) 居室の状況 | | ・開催回数 | |
| (5) 日課の特徴 | | (7) その他施設の特徴 | |

「事例研究」様式2 集団援助事例について

(グループ活動、地域福祉支援活動、施設処遇体制改善活動等)

- 1) 必ずしもグループワークの事例でなくても、利用者の生活援助、地域福祉支援のために行った委員会活動等の事例でもよいこと。
- 2) 次の項目について、A4版の用紙に横書き、字数40字×30行×3～4枚でまとめること。
- 3) 各項目の字数(特に表中の項目)は全体のバランスを考えて適宜伸縮して記入すること。

II 集団援助事例

(都道府県・市名) (施設名) (職種名) (氏名)

「 題 名 」(事例の内容がわかるように工夫すること)

- 1 グループ活動等の名称
- 2 この活動を取り上げた理由
- 3 活動経過の概要 (この部分がメインとなるので、具体的に記述すること)
 - (1) 初期の状況(ニーズの調査、動機づけ、活動の計画等)
 - (2) 中期の状況(メンバーの状態、活動の経過、その他)
 - (3) 後期の状況(結果と終結)
- 4 評価と今後の課題
- 5 施設の概要 (別紙)

| | | | |
|-----------|--|--------------|--|
| (1) 入所者定員 | | (6) ケース会議関係 | |
| (2) 入所者現員 | | ・参加職種 | |
| (3) 職員数 | | ・参加人員 | |
| (4) 居室の状況 | | ・開催回数 | |
| (5) 日課の特徴 | | (7) その他施設の特徴 | |

*その他、レポート作成上の留意点

- (1) 文体は、常体にすること。(「・・・だ・・・である。」)
- (2) 「見出し」番号及び行空けは、各項ごとに次の通りにすること。
 - ・ 1 (算用数字) -----大見出し
(注)書き始めの場合を除き、上2行及び、下1行を空欄にすること。
 - ・ (1) -----中見出し
(注)上1行を空欄にすること。
 - ・ 1) -----小見出し
(注)上1行を空欄にすること。
 - ・ 以下、①、①-1、の順序にすること(これらの場合も、上1行を空欄にすること)。